

令和7年度ふじみ野市下水道事業会計予算の概要

1 総括

本予算は、令和7年度の下水道事業に係る予算について編成するものです。

2 業務の予定量は、次のとおりです。

(1) 水洗化戸数	52,402戸
(2) 年間総排水量	14,661,365 m ³
(3) 一日平均排水量	40,168 m ³
(4) 主要な建設改良事業	
ア 汚水施設整備事業	321,583千円
イ 雨水施設整備事業	577,430千円
ウ 流域下水道事業	141,804千円

3 予算規模

(1) 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりです。

収入

下水道事業収益	1,864,880千円
営業収益	1,421,042千円
営業外収益	443,837千円
特別利益	1千円

支出

下水道事業費用	1,804,397千円
営業費用	1,717,246千円
営業外費用	79,151千円
特別損失	3,000千円
予備費	5,000千円

(2) 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりです（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額139,848千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額71,475千円及び過年度分損益勘定留保資金68,373千円で補填します。）。

収入

資本的収入	1,100,595千円
企業債	551,900千円
負担金	10,310千円
他会計負担金及び補助金	232,385千円
国庫補助金	306,000千円

支出

資本的支出	1, 240, 443 千円
建設改良費	1, 040, 817 千円
企業債償還金	194, 626 千円
予備費	5, 000 千円

4 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりです。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
公共下水道事業	410, 200 千円	普通貸借又は証券発行	3. 0 % 以内。ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率とする。	政府資金の場合はその融資条件により、銀行その他の場合はその債権者との協定による。ただし、企業財政の都合により、据置期間及び償還期限を短縮し、繰上償還し、又は低利に借り換えることができる。
流域下水道事業	141, 700 千円	同上	同上	同上
計	551, 900 千円			

5 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、営業費用、営業外費用及び特別損失の間の流用とします。

6 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければなりません。

(1) 職員給与費及び法定福利費 108, 946 千円

7 たな卸資産購入限度額 6, 468 千円

8 主要施策の状況

(1) 市街化調整区域公共下水道（污水管渠）の整備

予算額 318, 045 千円

(2) 川崎調整池関連事業

予算額 546, 698 千円